

平成30年度 東京都立若葉総合高等学校 学校経営計画

校長 濱田 准一

1 教育目標

- (1) 開拓の志と創造力を育む。
- (2) 社会に貢献する実践力を養う。
- (3) 自律の心と個性を伸ばす。

教育目標のコンセプトとして、“To be ambitious, active, and attractive”―私たち教職員一同は、大志を抱き (Ambitious)、生き生きと活動し (Active)、魅力あふれた (Attractive) 若者が巣立つ学校を目指す―と謳っている。

2 目指す学校

本校は、全都4校目かつ多摩地区最初の総合学科高校として平成17年4月に開校し、以下の3点を学校づくりの基本理念（目指す学校像）としている。

- (1) 生徒一人一人が、学力の確実な定着と体験的・実践的な学習活動を通じて自己の進路を開拓し、実現することができる学校
- (2) 生徒相互が個性を尊重し合い、自分に誇りを持ち、社会での義務や責任の大切さを学ぶ学校
- (3) 地域に開かれ、地域に根ざし、中高大の学校間連携を密にする学校

3 中期的目標と方策

新学習指導要領の導入に向け、生徒に身に付けさせたい資質・能力を明確にし、組織的・計画的にカリキュラム・マネジメントを推進する。総合学科としての特色ある教育実践の成果と課題について検証し、より魅力ある学校として、都民の信頼と期待に応え、中学生・保護者等に選ばれる学校づくりを行う。

(1) 学校経営

- ① 教職員の学校経営参画意識の向上と協業体制の確立を図る
- ② 執務ガイドライン・OJTガイドラインを活用した校務運営・人材育成を行う
- ③ 防災活動・環境美化活動等による地域との連携を強化する
- ④ 計画的な仕事の進め方により業務の効率化を徹底し、教職員一人一人のライフ・ワーク・バランスの実現を図る

(2) 学習指導

- ① 学力スタンダードに基づく教科指導を充実し、基礎・基本を重視した学力の向上を図る
- ② 外部人材や外部機関等を活用し、学習指導方法の改善を通して教科指導力の向上を図る

- ③ 読書活動等を推進し、生徒の言語能力の向上を図る
- ④ 国際交流活動の推進や語学力等の指導を通して、グローバル人材の育成を図る

(3) 生活指導

- ① 生活指導指針に基づき、生活指導部を中心とした組織的な生活指導を行う
- ② 身だしなみや、礼儀作法等の指導を徹底し、生徒の規範意識の向上を図る
- ③ 人権を尊重し、いじめゼロの学校、体罰・暴言等の一切ない学校を目指す

(4) 進路指導

- ① 進路指導部と学年が連携し、生徒の個性と可能性を重視した丁寧な個別指導を行う
- ② 生徒が主体的に自らの生き方・あり方について考え、希望進路を実現できるよう、計画的・系統的な三年間のキャリア教育を行う
- ③ 資格・検定等の取得を奨励し、得意分野をもつ生徒の育成を図る

(5) 特別活動・部活動

- ① ホームルーム活動を充実し、生徒のコミュニケーション能力の育成を図る
- ② 学校行事の質的向上を図り、豊かな人間性を育む
- ③ 部活動を通じて自主・自律の精神を育む

(6) 安全・健康指導

- ① 生徒の安全に対する意識の向上を図り、自助・共助の精神を培う
- ② 心と体の健康を保持し、自他の生命を尊重する態度を育成する

(7) 募集・広報活動

- ① 経営企画室と教務部が連携を図り、募集・広報活動を組織的に行う
- ② 稲城市教育委員会、中学校、PTA等との連携による募集活動を推進する

(8) 施設設備管理・経営企画室運営

- ① 生徒の安全確保のために、施設設備の保守点検及び改善を随時実施する
- ② 自律経営推進予算の執行率を高める
- ③ 経営参画型の経営企画室を推進する

4 今年度の取組方法と方策

(1) 学校経営

- ① 分掌組織のマネジメントサイクル（PDCA）を活用し、課題解決に向けた効果的な学校運営を行う。
- ② 若手教員等に対して、主幹教諭や主任教諭の経験を生かした職場内OJTを推進する。特に、教員相互の授業参観を通して学び合う機会を増やし、若手教員等の育成を図る。
- ③ 防災教育、環境教育、奉仕体験活動等を充実させるために、稲城市等地域との連携強化を図り、社会貢献を担える生徒の育成を行う。

- ④ 東京都オリンピック・パラリンピック教育実施方針に基づき、オリンピック・パラリンピック教育を一層推進する。
- ⑤ 各教科での教材の共有化、会議の設定時間・運営の工夫、計画的な仕事の進め方等により、業務の効率化を徹底し、教職員の在校時間を縮減する。

(2) 学習指導

- ① 教科のマネジメントサイクル（PDCA）を活用し、組織的な授業力の向上を推進する。「主体的・対話的で深い学び」を実現するため、アクティブ・ラーニング型授業を一層推進し授業改善を図る。
- ② 「ゆめナビプロジェクト」研究校として、オンライン個別学習教材を活用し、生徒の学習意欲の喚起、学習習慣の確立、基礎学力の向上を図る。「スマートスクール構想」指定校として、個々の生徒の学力を把握、分析し、組織的に指導できる体制を構築する。
- ④ 放課後の自習や個別指導などにおいて自習室の効果的な活用を図る。
- ⑤ 長期休業日中の講習等を計画的に実施し、生徒の能力を最大限に伸ばす指導を行う。
- ⑥ 読書強化月間・週間、読書に係る課題などを通して生徒の言語能力の向上を図る。
- ⑦ 東京グローバル・ユース・キャンプ、トビタテ留学 JAPAN 高校生コース等への参加を奨励するなど、国際交流事業の推進や語学力等の向上を通して、グローバル人材の育成を図る。

(3) 生活指導

- ① 生活指導部が中心となり各学年等と連携して、挨拶の励行、遅刻指導・身だしなみ指導の徹底を行い、生徒の規範意識の醸成を図る。
- ② ノーチャイム・ノー放送、定刻の授業開始により、生徒の時間厳守、自己管理意識を育成する。
- ③ SNS 利用モラル向上について、外部講師による講演会や「社会と情報」の授業を活用し、望ましい人間関係の構築、人権意識の醸成、道徳的実践力の育成を図る。
- ④ いじめの未然防止、早期発見、早期対応に取り組むため、年3回のアンケート調査により諸課題を的確に把握し、学校いじめ対策委員会、学校サポートチームとの連携を強化して対応する。

(4) 進路指導

- ① A0・推薦ゼミや論文・面接指導、一般入試対策指導、大学入試センター試験対応のための進学対策指導や就職対策指導などを、学年担当や教科担当と連携し計画的・組織的な指導の充実を図る。
- ② 総合学科高校の特色を生かし、生徒の進路実現に向けて、「産業社会と人間」から「総合的な学習の時間（マイプロジェクト）」に至る計画的・系統的なキャリア教育を推進する
- ③ インターンシップ（就業体験）や職場体験などの体験から学ばせる機会を増やし、職業観、勤労観、自己理解を深める指導を実践する。
- ④ 各種の検定試験（漢字検定、英語検定）等の取組を通して、学習指導との相乗効果を図る。

(5) 特別活動・部活動

- ① 年間指導計画に基づいたロングホームルームの実施を通して、課題解決能力とコミュニケーション能力の向上を図るとともに、協調性や他者を思いやる態度を育成する。
- ② 学校行事の意義付けの明確化と質的向上を図り、生徒に協調性や達成感を持たせるとともに、自尊意識を高める。
- ③ 部活動の参加率の向上と活動内容の向上に努め、生徒の自主・自律の精神を育成する。指導に当た

っては人権に十分に配慮し、バランスのとれた学校生活の視点から活動日を設定する。

- ④ 東京都教育委員会指定「スポーツ特別強化校」部活動（陸上競技部、ソフトボール部）の取組みを充実させ、当該部活動の一層の強化を図る。

（6）安全・健康指導

- ① セーフティ教室や避難訓練等を通じて、生徒の安全、防災に対する意識を一層高める。
- ② 地域関係機関との連携を図り、生徒の登下校時の安全確保に努める。
- ③ カウンセリングマインドに基づく保健相談機能の充実を図り、生徒に自他の生命を尊重する意識を高めさせる。
- ④ 発達障害等特別な支援が必要な生徒に対する組織的・計画的な対応を推進する。
- ⑤ パワーアップハイスクール指定校として、組織的・計画的に生徒の基礎体力や運動意欲の向上及び心身の健康の保持・増進を図る。

（7）募集・広報活動

- ① 学校説明会、中学校・塾訪問を計画的に実施するとともに、ホームページの更新と内容の充実を図る。
- ② 中学生向けの体験教室や部活動の体験入部等を積極的に実施する。
- ③ 稲城市中学校関係者や本校PTA等との連携を図り、本校を会場とする都立高校合同説明会実施など、広報・募集活動を計画的に実施する。

（8）経営企画室運営

- ① 自律経営推進予算の執行状況について、月毎の資料提示を定着させ、適切に管理する。
- ② 校長の学校経営を補佐するために、経営参画型の経営企画室運営を推進する。特に、学校の広報を経営企画室と教務部とが連携を図って積極的に行う。

5 重点目標と数値目標 [数値は、平成30年度の目標]

（1）学校運営

- 保護者の学校満足度 90%以上
- 総合学科関係研究会への教員参加 10名以上
- 初任者等若手教員研修会の実施 6回以上
- 教員相互の授業参観 2回以上

（2）学習指導

- 生徒の授業満足度 必履修科目75%以上、選択科目90%以上
- 長期休業日中における講習 50講座・500時間以上
- 図書貸し出し数 3000冊以上
- 各種検定の合格者数
 - 漢字検定【準2級以上】 10名以上
 - 英語検定【準2級以上】 10名以上
 - パソコン検定【3級以上】 10名以上

日本語ワープロ検定【3級以上】	10名以上
簿記検定【3級以上】	5名以上

(3) 生活指導、特別活動・部活動

○ 遅刻生徒数	3%以下
○ 部活動加入率	85%以上
○ 関東大会出場レベル部活動	2部以上

(4) 進路指導

○ 進路決定率	94%以上
○ 大学・短大進学率	60%以上

(5) 募集・広報活動

○ 学校見学会・学校説明会・個別相談会の参加者	2000名以上
○ 文化祭来場者	2500名以上
○ 中学校・学習塾への学校説明訪問	100校以上
○ ホームページ更新	200回以上
○ 推薦に基づく入学選抜応募倍率	2.4倍以上
○ 学力に基づく入学選抜応募倍率	1.4倍以上

(6) 経営企画室の経営

○ 第3四半期、予算執行率	70%以上
○ センター執行率	45%以上